

正誤表

本書中に訂正箇所がありました。申し訳ございませんでした。お手数をおかけしますが、下記ご参照いただきますようお願い申し上げます。(2021年10月18日)

■第1版第1刷(2021年1月29日発行)の修正箇所

ページ	場所	修正前	修正後	補足
233	18 ＜計算＞ 上から4行目 と最後の行	$h = 180 \times (15 + 5) \div 1000 = 3.6 \text{ m}$ $= 3.6 + 10 + 15 + 5 = 33.6 \text{ m} \approx 33 \text{ m}$	$h = 170 \times (15 + 5) \div 1000 = 3.4 \text{ m}$ $= 3.4 + 10 + 15 + 5 = 33.4 \text{ m} \approx 33 \text{ m}$	
234	19 図-1	<p>図-1: 給水装置の平面図。配水管 G から分水栓 G へ、止水栓、水道メーター、そして3つの水栓 A, B, C へと分岐する。各水栓の設置高さと配管の寸法が示されている。A, B, C の高さはそれぞれ 13-1.0 m、13-1.0 m、13-1.5 m。A, B の水平距離は 20-1.0 m、20-1.5 m。C の水平距離は 20-1.5 m。D, E の高さはそれぞれ 13-1.0 m、13-1.0 m。D, E の水平距離は 20-2.0 m、20-1.5 m。F までの配管長さは 20-6.0*。F から A, B, C までの高さは 20-2.5 m。全体の高さは 4.5 m。</p>		左図のように、赤字の E の位置を変更する。
286	下から10行目	<p>……の実務経験を有する同主任技術者が管工事業に係る営業所選任技術者と……</p>	<p>……の実務経験を有する同主任技術者が管工事業に係る営業所専任技術者と……</p>	